

2024年の木材輸入実績

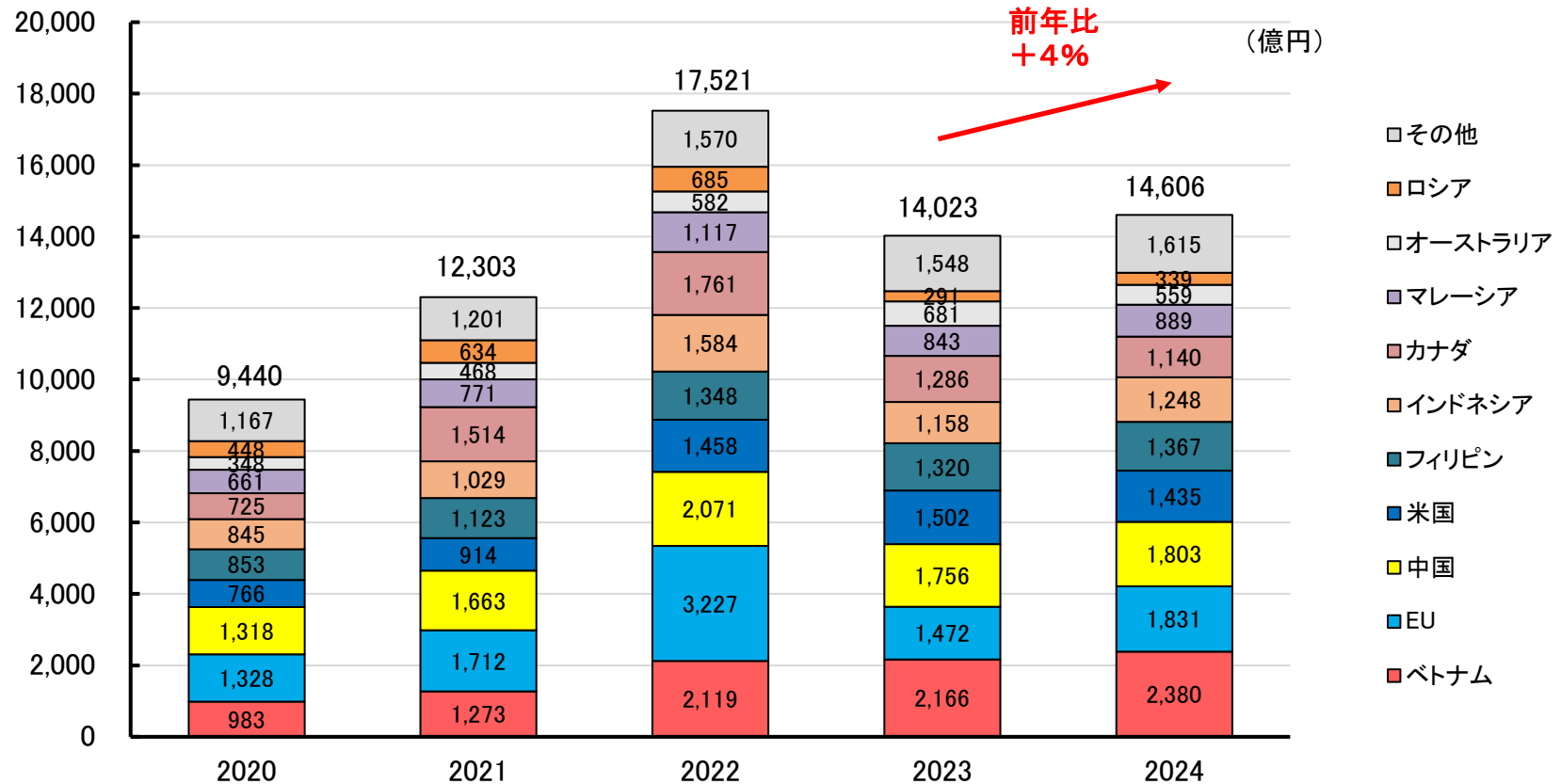
貿易統計3月13日公表(確々報値)

林野庁 木材貿易対策室

1. 木材輸入額

- 2024年の木材輸入額(HS44類)は、前年比+4%増の1兆4,606億円。木材輸入額第1位はベトナム、第2位はEU、第3位は中国となった。EUは、製材・集成材の輸入額が増加したことにより、前年第4位から第2位となった。
- 2023年と比較すると、ベトナムが前年比+10%増、EUが同+24%増、中国が同+3%増、米国が同▲4%減、フィリピンが同+4%増、インドネシアが同+8%増。

木材輸入額の推移



資料:「貿易統計」
(2024年は確々報値)

2. 品目別輸入動向－(1)丸太

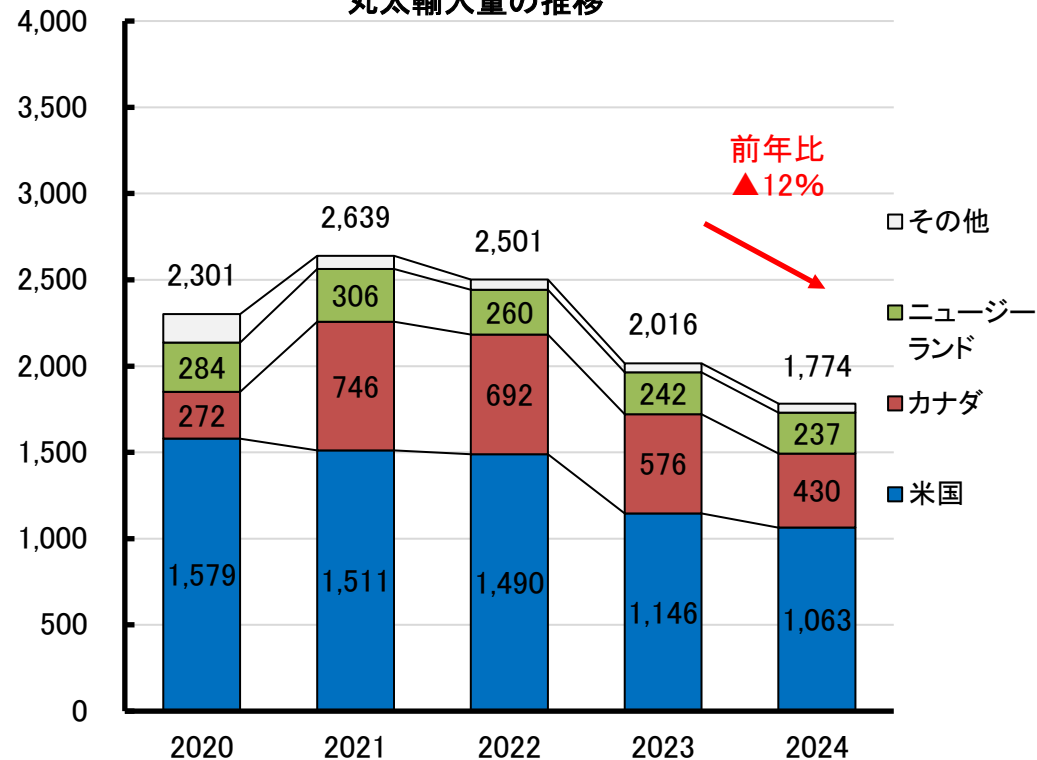
(2)製材

- 2024年の丸太輸入量は、前年比▲12%減の177万m³。
- 米国（シェア：60%）は、同▲7%減の106万m³。需要の停滞や、2023年8月にベイマツ丸太の製材大手が工場火災により減産したことから、輸入量が減少。
- カナダ（同24%）は、同▲25%減の43万m³。人件費、物流費等の高騰などにより、主要産地における伐採が減少し輸入量も減少。
- NZ（同13%）は、同▲2%減の24万m³。NZ産丸太は主に梱包材用。産地価格の上昇と円安の進行等により輸入コストが上昇したことから、国産材へ転換の動きが進んでいる。

- 2024年の製材輸入量は、前年比+19%増の398万m³。
- EU（シェア：55%）は、同+33%増の218万m³。2023年の過剰在庫の調整等による大幅輸入減の反動から輸入量は増加。
- カナダ（同21%）は、同+9%増の83万m³。SPF製材は、EU同様に、2023年の過剰在庫の調整等による大幅輸入減の反動から輸入量は増加。
- ロシア（同13%）は、同+14%増の53万m³。アカマツ製材について、2023年の経済制裁等に伴う大幅輸入減の反動もあり、輸入量が増加。

(千m³)

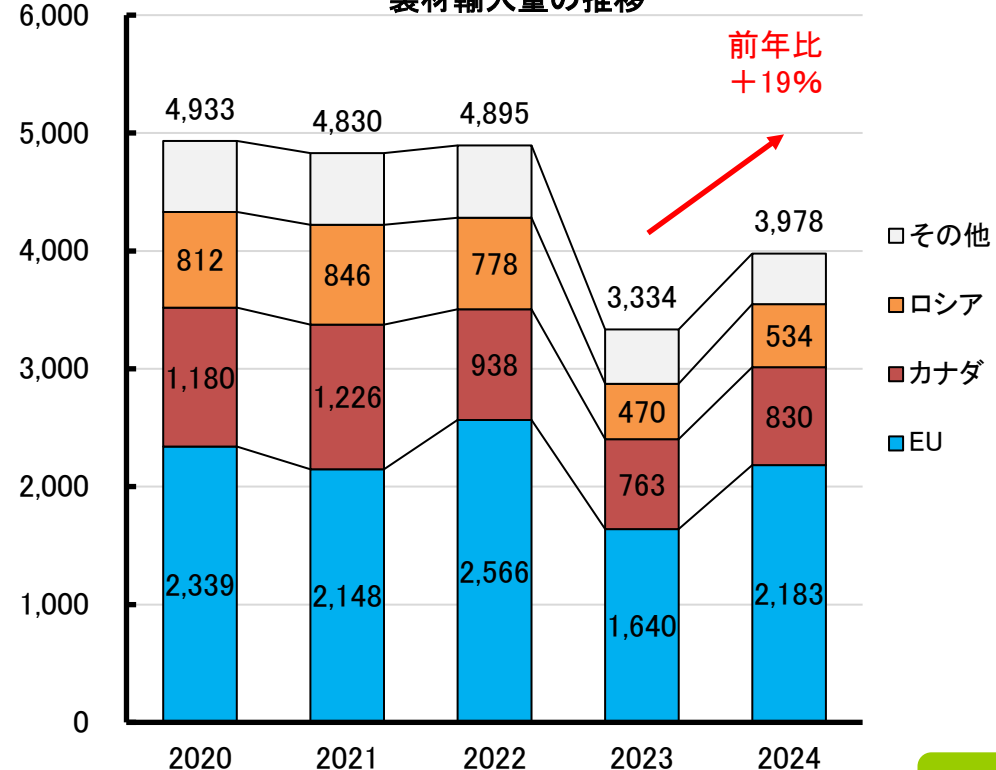
丸太輸入量の推移



資料:「貿易統計」
(2024年は確々報値)

(千m³)

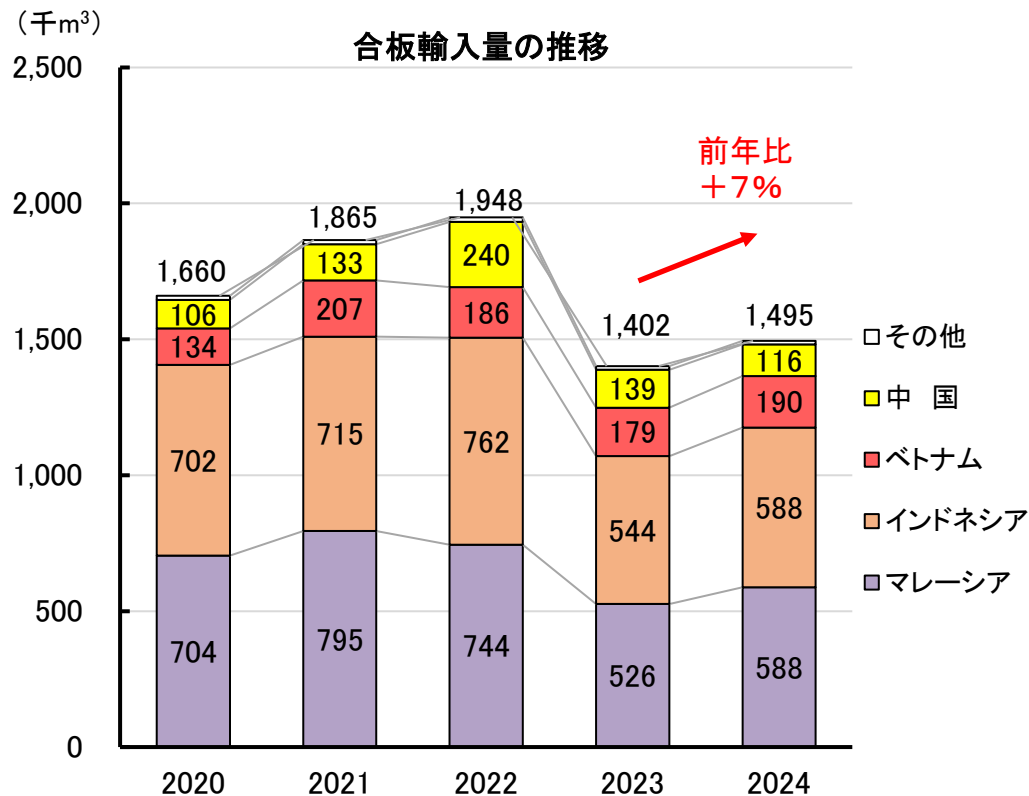
製材輸入量の推移



資料:「貿易統計」
(2024年は確々報値)

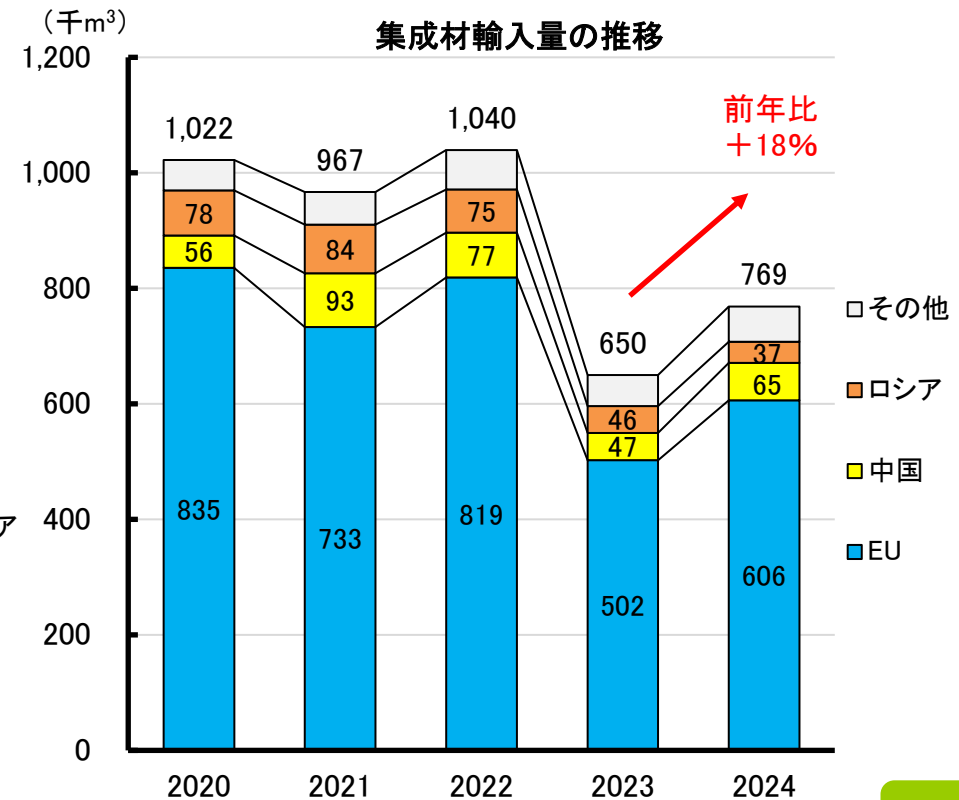
(3) 合板

- 2024年の合板輸入量は、前年比+7%増の150万m³。
- インドネシア（シェア：39%）は、前年比+8%増の59万m³。マレーシア（同39%）は、前年比+12%増の59万m³。円安の影響による輸入コストの増加や需要の停滞はあるが、2023年に減少した反動等により輸入量は増加。
- ベトナム（同13%）は、前年比+6%増の19万m³。中国（同8%）は、前年比▲16%減の12万m³。



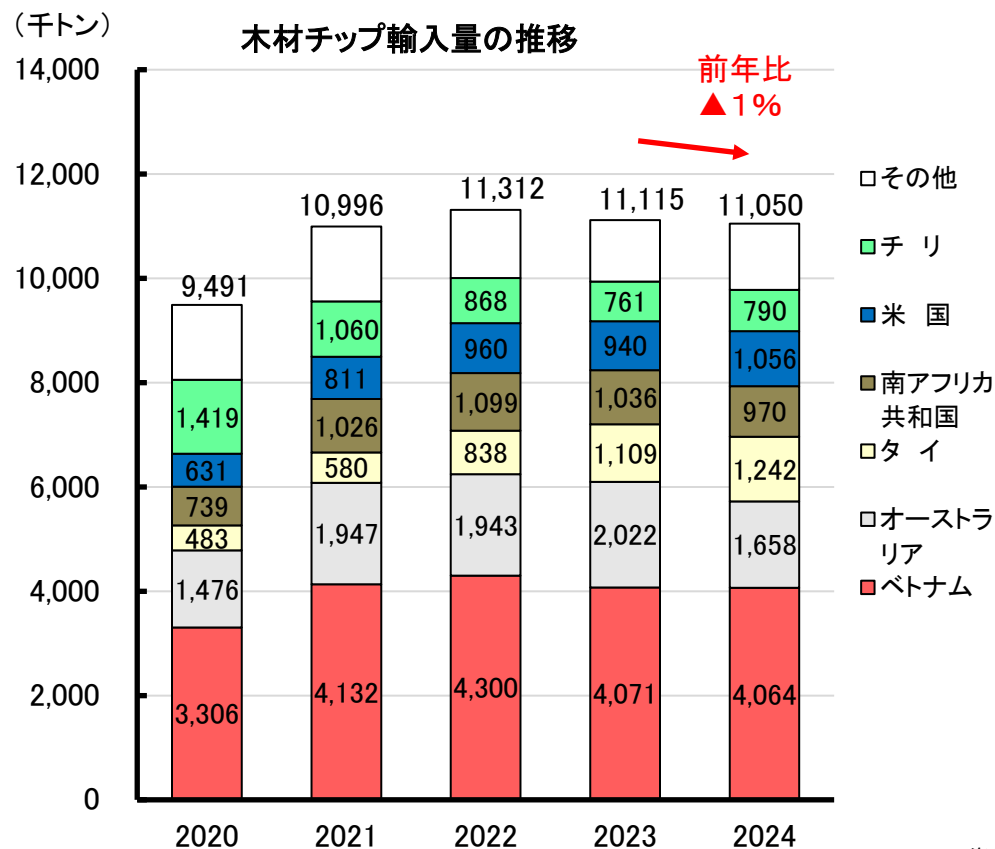
(4) 集成材

- 2024年の集成材輸入量は、前年比+18%増の77万m³（うち構造用集成材：66万m³）。
- EU（シェア：79%）は、前年比+21%増の61万m³。製材同様、2023年の過剰在庫の調整等による大幅輸入減の反動から輸入量は増加。
- EU加盟国別では、フィンランドが前年比+15%増の28万m³、ルーマニアが同+26%増の10万m³、オーストリアが同+19%増の9万m³。
- 中国（シェア：8%）は、同+36%増の6万m³。ロシア（同5%）は、前年比▲21%減の4万m³。



(5) 木材チップ

- 2024年の木材チップ輸入量は、前年比▲1%減の1,105万トン。
- 輸入木材チップの主な用途である、紙・板紙の内需は長期にわたり減少傾向。2024年も、梱包に使う段ボールなど板紙の需要が鈍く、紙もデジタル化による需要減少が続く。
- ベトナム（シェア：37%）は、前年比ほぼ横ばいの406万トン。オーストラリア（同15%）は同▲18%減の166万トン、タイ（同11%）は同+12%増の124万トン。



(6) 木質ペレット

- 2024年の木質ペレット輸入量は、前年比+10%増の638万トン。FIT制度を背景とした木質バイオマス発電所の新規稼働が相次ぎ、近年需要が急増。
- ベトナム（シェア：52%）は同+27%増の332万トン。カナダ（同18%）は同▲26%減の117万トン、米国は（同18%）は同▲11%減の112万トン。米国は、米国メーカーと長期契約している木質ペレット発電所の稼働率が上がってきたことなどが影響し輸入が大幅に増加し、2021年と比べて40倍以上。ベトナムからの輸入量も年々増加傾向。

